

◇◆ほっかいどう防災教育協働ネットワーク◆◇

■ 8月～9月にかけての台風・大雨被害について■

- ・DCMホームック「防災フェア」盛況！
- ・「北海D○防災かるた」文案募集中！
- ・10月28日（金）「協働ネットワークシンポジウム」を開催します！

- ・【釧路市】 10/2 防火フェスティバル (釧路東部消防組合釧路消防署)
- ・【札幌市】 10/15・16 藤女子大学「藤陽祭」で消防団PRパネル展を開催
- ・【根室市】 10/20 津波防災地域づくり講演会 in 根室

- ・防災教育スタートガイド付きの小学生向け副読本「大地震に備える」

- ・損保協会「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」募集中
- ・北海道シェイクアウトは11月4日（金）に実施します
- ・道の総合防災訓練について

- ・ 9月23日（金）現在 93 （30個人・63団体）
- ・（一財）日本気象協会北海道支社

道内では、８月１７日に今年初上陸した台風７号をはじめ、上陸・接近した４つの台風の影響などにより、９月上旬まで道内各地で記録的な豪雨となり、甚大な被害が発生しました。

この度の一連の台風・大雨により被害に遭われた方々に、心からお見舞い申し上げます。

○平成28年台風第10号に係る被害状況等に関するお知らせ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/taifu10.htm>

【1】トピックス

■DCMホームマック「防災フェア」盛況！

9月4日（日）、DCMホームマック（株）の主催による防災フェアがホームマック東雁来店駐車場で開催されました。

今回の防災フェアは、ほっかいどう防災教育協働ネットワークの協働プロジェクトとして、北海道開発局や札幌市、日本損害保険協会北海道支部、日本赤十字社北海道支部、道庁も参加し、AEDの体験や煙道体験、消火器使用体験などさまざまな体験コーナーが設けられたほか、災害や防災について解説するパネルが数多く展示されました。

当日は風がやや強かったものの日差しに恵まれ、消防車との記念撮影会には多くの親子連れが訪れたほか、非常食の試食では美味しさに驚く参加者の姿が数多くみられるなど、大人から子どもまで幅広い層に「防災」について知ってもらえるイベントとなりました。

■「北海D○防災かるた」文案募集中！

（一財）日本気象協会北海道支社が作成する「北海D○防災かるた」の内容を検討する協働プロジェクトがスタートしました。現在、かるたの読み札案を募集中です。

読み札は、北海道で想定されるさまざまな自然災害を想定した防災知識や、いざという時のファーストアクションなどをテーマに、5・7・5調の優しい言葉を使うこととしています。

みなさまのご提案は、タイトルは「北海D○防災かるた読み札案」で、任意の様式により、電子メールでほっかいどう防災教育協働ネットワーク事務局（北海道総務部危機対策局危機対策課・メールアドレス：somu.bosai22@pref.hokkaido.lg.jp）にお送り下さい。

メール1通に、複数の読み札案を記述していただいても構いません。

未来の北海道を担う子どもたちに必要な防災知識がわかりやすく、かつ、身につくような読み札となるよう、ネットワーク構成員の皆様の多数の応募をお待ちしております。応募〆切は、9月30日です。

■10月28日（金）「協働ネットワークシンポジウム」を開催します！

ほっかいどう防災教育協働ネットワークの設立から2年が経過し、ネットワーク構成

員数は、9月23日現在で93（個人30、団体63）となりました。

道では、構成員が一堂に会する場を提供することにより構成員同士の交流を促し、防災教育のアイディアの共有と新たな協働のきっかけ作りを目的に、構成員を対象とした協働シンポジウムを10月28日（金）午後3時より、TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前（札幌市中央区北3条西6丁目・毎日新聞ビル）において開催いたします。

シンポジウムでは防災教育の先進事例として、（公社）中越防災安全推進機構地域防災力センターの諸橋和行センター長に新潟県中越地震を踏まえた地域の防災教育の取組についてご講演いただくほか、構成員6名の方に防災教育の取組事例を発表いただく予定です。

また、構成員相互の交流を活発化させるため、シンポジウムに続き、交流会を開催します。

近日中に構成員の皆様にはシンポジウムと交流会の参加案内を発出いたしますので、お誘い合わせの上、多数のご参加をお願いいたします。

【2】イベントピックアップ

10月の防災イベントを紹介！

【釧路市】10/2 防火フェスティバル（釧路東部消防組合釧路消防署）

10月2日（日）、10時から12時に、釧路東部消防組合釧路消防署（釧路町字別保原野）において、「防火フェスティバル」が開催されます。

当日は、消防車や救急車、消防用資機材の展示をはじめ、心肺蘇生法の体験、訓練用消火器による消火体験、濃煙体験などが行われます。

また、（一社）北海道消防設備協会釧路支部による防災物品の展示もあります。

子どもだけではなく、大人も楽しみながら学べる、防火・防災意識の啓発イベントとなっていますので、是非ご参加ください。

【札幌市】10/15・16 藤女子大学「藤陽祭」で消防団PRパネル展を開催

10月15日（土）・16日（日）、10時～16時に、藤女子大学の大学祭「第53回藤陽祭」において、消防団PRパネル展が開催されます。

場所は、北16条キャンパス（札幌市北区北16条西2丁目）となり、札幌市消防局や（公財）北海道消防協会の協力のもと、当日は、札幌市北消防団の消防団員が参加し、2階購買前で消防団加入促進のパネルや映画とタイアップしたポスターをはじめ、消防団の活動服、防火衣などの展示を行います。

消防のイメージキャラクターである「消太」くんの登場も予定されていますので、消防団について興味を持っている方やこの機会に消防団を知りたい方は、是非足を運んでみ

てください。

【根室市】10/20 津波防災地域づくり講演会 in 根室

10月20日（木）、13時30分から16時40分に、根室市総合文化会館（根室市曙町1丁目）において、「津波防災地域づくり講演会 in 根室」が開催されます。

この講演会は、11月5日の「津波防災の日」に向けて、災害に強い地域づくりや、住民と行政の役割、連携（自助、共助、公助）などに関して、防災・減災の第一線で活躍されている2人の講師による講演が予定されています。

講演内容は、「大規模災害（地震・津波・高潮）から命を守る「新たな防災」を考える！」（CeMI環境・防災研究所 松尾一郎副所長）、「防災・減災を目指した北海道のまちづくり」（室蘭工業大学 有村幹治准教授）となっています。

入場は無料です。皆様の参加をお待ちしています。

10月12日（水）17時までに事前申込みが必要です。

詳しくは、こちらをご覧ください。

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/sbs/kouenkai_in_nemuro.htm

■その他のイベント情報はこちらから

- ・ネットワークイベントカレンダー（平成28年10月～平成29年3月）

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp/wordpress/network/>

【3】日本全国！ぼうさいの取組紹介！

日本全国に視点を広げ、特色のある防災の取組を紹介します！

皆さんが行う防災の取組の参考となれば幸いです。

■防災教育スタートガイド付きの小学生向け副読本「大地震に備える」

国土交通省関東地方整備局と毎日新聞社では、地震災害や防災について総合的に学ぶことのできる小学生向け副読本「大地震に備える」を作成し、9月上旬より東京都、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県の公立小学校へ配付を開始しました。

「大地震に備える」は、地震のメカニズムや首都圏の過去の地震災害について解説するとともに、首都直下地震の想定についてわかりやすく説明しています。そして、通学路で地震の際に危険な場所について写真で示し「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない場所に身をよせよう」と指導しているほか、災害時に道路が果たす役割などについて詳しく解説しています。

この「大地震に備える」には、教育の場で教員が有効に活用するための解説書である「防災教育スタートガイド」が付いているのが特徴です。

スタートガイドでは、防災教育で育みたい4つの力として「危険を察知する力」「安全を確保する力」「周囲を助ける力」「地域の安全に貢献できる力」を挙げ、学習指導要領に沿った防災教育の取り組み方や、「大地震に備える」を利用した授業例が紹介されています。

「大地震に備える」と「防災教育スタートガイド」は、関東地方整備局のホームページから閲覧・ダウンロードが可能です。URLはこちらです。

http://www.ktr.mlit.go.jp/road/chiiki/road_chiiki00000107.html

【4】お知らせ

■損保協会「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」募集中

日本損害保険協会では、今年で13回目を迎える「ぼうさい探検隊マップコンクール」を行っています。

「ぼうさい探検隊」とは、子どもたちがまちにある防災などに関する施設を見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめて発表する、実践的な防災・安全教育プログラムです。

今年のぼうさい探検隊マップコンクールの応募〆切は、11月9日（水）です。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.sonpo.or.jp/protection/bousai/>

■北海道シェイクアウトは11月4日（金）に実施します

今年の「北海道シェイクアウト」は9月1日（木）午前10時に実施を予定していましたが、多くの道民の皆様が台風10号等による大雨災害への対応や復旧作業にあたられていたことから、実施を延期いたしました。

このたび道では、「北海道シェイクアウト」の新たな実施日を11月5日（土）の「津波防災の日」にあわせ、11月4日（金）午前10時に実施することと決定しました。

なお、当日同時刻に消防庁と気象庁が、緊急地震速報を受信した際の行動訓練を行う予定であり、北海道シェイクアウトは、この訓練と連携した「緊急地震速報シェイクアウト」としても実施されます。

現在、Webサイトで参加登録を受付中です。多くの方々の参加登録をお待ちしております。

<http://www.shakeout.jp/event/hokkaido/>

※延期前の9月1日の実施に向けて既に参加登録を済ませている方は、改めて参加登

録を行う必要はありません。

■道の総合防災訓練について

道では、北海道における災害対応力の強化を図ることを目的に、防災関係機関、関係市町村等と共同で大規模な地震・津波災害を想定した「北海道防災総合訓練」を実施します。

この訓練では、想定に基づく大規模地震発生時において、防災関係機関等と連携・調整を図りながら災害応急対策を行う「災害対策本部運営訓練」と、市町村における災害時での必要な対応として、災害情報の収集や伝達・提供等をはじめ、避難所の運営のほか、救出救助などの実働訓練を実施します。

また、平成28年熊本地震から得られた知見をもとに、物資の調達、供給及び輸送等に係る実践的な連携や、応援・受援体制等について、外部の視点も含めて検証する予定です。

訓練の実施日は次のとおりです。

①災害対策本部運営訓練：平成28年10月25日（火）

②実動訓練

ア 猿払村（宗谷総合振興局管内）：平成28年10月28日（金）

イ 湧別町（オホーツク総合振興局管内）：平成28年10月30日（日）

【5】ネットワークへようこそ！

9月23日（金）現在のネットワーク構成員数は、93（30個人・63団体）です。

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp/wordpress/network/>

このコーナーでは、参画いただいている皆様の横顔を順次、ご紹介していきます。

【一般財団法人日本気象協会北海道支社】

日本気象協会は、1950年に設立されて以来、国内では先駆けの民間気象法人として天気予報をはじめとした気象情報の提供、花粉情報や紫外線情報など日常生活に密着した情報の提供、防災や環境・エネルギーに関わる調査やコンサルタント業務など、様々な分野での仕事を行っています。

北海道エリアを受け持つ北海道支社の人数はおよそ50人で、日々の気象情報を直接伝えるといったメディア出演の仕事から、情報の基盤であるコンピューターシステム、予測や解析手法の開発、フィールド調査に至るまで、気象に関わることなら何でもやるといった会社（支社）です。

最近の気象情報の重要性の高まりとともに、前職での経験を活かして地元に貢献したいというUターンの中途採用者も増えてきています。スタッフ一同、道民の皆様の命、財産を守る役割を担うという思いを日々新たに、はり切って24時間営業で業務を行っています。

フェイスブックもぜひご覧ください。

<https://www.facebook.com/jwanews.hokkaido/>

【編集後記】

一昨年9月、道央の集中豪雨により大雨の特別警報が発表されました。昨年8月、9月のメールマガジンでは、構成員の皆様から「9.11豪雨からの1年を振り返って」というテーマでいただいた寄稿を掲載させていただきました。

改めて読み返してみますと、「垂直避難」という言葉が認知されたり、道民の大雨災害への関心度は高まっていると実感する意見がある一方で、「このくらいの大雨では被害が無いだろうということではなかなか住民の避難行動につながらない事例がみられる」との意見もありました。

そして今年、北海道には4つの台風が相次いで上陸・接近し、9月上旬までの約一ヶ月間にわたる断続的な大雨により、「56水害」以来と呼ばれる大規模な水害に見舞われました。

気象庁では、異常気象とは30年に1回程度起こる気象現象と定義されていますが、地球温暖化の進行により、北海道の大雨災害リスクは今後さらに高まることが確実とされています。30年に一度が、数年に一度に変わるかもしれません。

誰もが遭遇する可能性のある「大雨災害」に対し、これらの災害経験に学びながら、自助・共助・公助それぞれのレベルアップと防災教育の強化を図ることが、今後の北海道に必要であると感じました。(博)

=====

発行：ほっかいどう防災教育協働ネットワーク事務局

(北海道総務部危機対策局危機対策課)

・最新情報発信中！フェイスブック「ほっかいどうの防災教育」

<https://www.facebook.com/hokkaido.bousaikyouiku>

・ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp>